

7/30 (日) 付け 長野日報に掲載されました

(第三種郵便物認可)

歯科衛生士の仕事触れる

県公衆衛生専門学校が体験入学

歯科衛生士を養成する県公衆衛生専門学校（伊那市）は29日、体験入学を同校で開いた。南信地方の高校生を中心とした県内外の学生29人と保護者らが参加。歯磨きの指導や専用器具を使ったスクレーピング（歯石除去）などの実習を体験し、進路選択の参考にした。

（堀木俊典）

参加者は3グループに分かれ、在校生が指導役を務める三つの体験コーナーを回った。1年生は口腔内の模型と専用の器具を使用した歯石の除去、2年生は歯科用材料を使った指の型取り、3年生は

効率よく歯ごうを落とす歯磨きの方法をマンツーマンで指導。入試や学校生活に関する質問にも応じた。

参加者は実習を通じて3年間の学習内容や歯科衛生士の仕事について理解を深めた。諏訪実業高校3年の女子生徒は「歯医者さんでもやってもらったことがないことを体験できた。難しくなかったけれど優しく教えてもらい、歯科衛生士になりたい気持ち」がさらに強くなったと話していた。



体験入学で在校生から歯磨きの指導を受ける参加者

この日は同校の入学試験制度について

も説明。従来の推薦入試に加えて、新たに設けた特別学校推薦入試と社会人推薦入試を紹介した。